

事業所名

多機能型施設えいる 放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日

R6 年

8 月

15 日

法人（事業所）理念		私たちは、「一人ひとりのお気持ちにそっと寄り添い、安心してその人らしく過ごしていける」を実現することを基本理念とします。											
支援方針		○一人ひとりの個性に合わせた支援の提供、○重症心身障がい児の特性に配慮した支援の提供、○安心して過ごせる生活の提供と、五感を通じてさまざまな体験の提供、○ご家族との連携を図り共に児の成長を見守ります。※以上をもとに個別支援計画を作成し、以下の支援プログラムを組み合わせた活動を行っていきます。											
営業時間		授業終了後 学校休業日	15 10	時	30 00	分から	18 17	時	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<p>バイタルチェック及び全身状態の把握を行い、異常の早期発見・対応を行います。意思表示が困難な児に対する障がいの特性や発達の過程・特性を考慮し、きめ細やかな観察・対応を行います。（てんかん発作、体温調節、筋緊張の亢進等）</p> <p>基本的な生活リズムの安定を図ります。生活行為を安心して行えるよう個別支援・個別対応を心掛けていきます。健康的な生活の基本となる食事では、エネルギーの確保を軸としながらも、口腔内機能や感覚に配慮しながら、楽しく食事できる環境を整えます。また、自助具や自助食器を用い、児の能力を最大限活かせるよう工夫していきます。経口摂取が困難な場合は胃ろうより滴下注入を行います。入浴では、児の成長に伴う自宅浴槽での入浴が困難になることを想定して特殊浴槽での入浴を行います。清潔保持に努め、リラックスすることで気分転換も図ります。自宅での入浴が可能な場合は、できるだけ自宅での入浴と同じ動作を行えるよう個浴で対応していきます。排せつについても児の排せつパターンや排せつ方法に対応していきます。</p> <p>車椅子やバギー車が必要な児に対して、乗車時の良肢位の保持を行うと共に、転倒・転落を予防していきます。また、長時間同じ姿勢をとることでの弊害を防止するために適宜、車椅子・バギー車から降りて過ごす時間も確保します。</p>											
	運動・感覚	<p>日々の生活の中で、活動を通して身体機能の維持・向上を図ります（活動と参加）。リハビリ評価を行い、関節拘縮予防、側弯症予防、筋力の維持・強化、上下肢の運動・動作の改善・習得を図ります（身体機能）。短下肢装具や体幹装具、姿勢保持装置などを活用し、児の活動を補助します。</p> <p>児の保有する五感を十分に活用できるようにレクリエーションやイベント等を通して支援します。特にアダプテッド・スポーツ（障害等の種類や状態等に適合させたスポーツ）の考え方を取り入れ、重力や感覚機能に働きかけ、楽しく参加できるスポーツ（感覚運動遊び）を提供していきます。</p> <p>また集団で行う場合であっても、児による感覚の偏りに配慮した環境調整などの支援を行い対応します。</p>											
	認知・行動	<p>共に生活行為やレクリエーションにおいて、視覚・聴覚・触覚などを用いた情報入力（input）を行い、認知機能の発達を促します。その際、児の特性に合わせたアプローチ法を選択していきます。また、認知から行動（output）できるように支援していきます。</p> <p>四季折々にちなんだ行事やイベントを通して、雰囲気を楽しむ、時制を感じ理解する支援を行っていきます。児の興味のあるものを探り、より自発的に体験し、達成感が味わえるような取り組みを行っていきます。</p>											
	言語 コミュニケーション	<p>家庭や学校との連携を図り、個々の児に合った言葉、もしくは絵カード、身振り手振り、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションを用いて相互理解を図っていきます。</p> <p>場面に応じた表情や発語から、児の気持ちを汲み取り、共有・共感することで共同注意などのコミュニケーション能力の向上に繋げていきます。</p>											
	人間関係 社会性	<p>スキンシップ遊び等を通して、アタッチメントの形成を図り、情緒が安定することで安心して過ごせるよう支援していきます。児の特性に応じた、感覚運動遊びから象徴遊び、一人遊びから協同遊びを通して社会性の発達支援を行います。また、地域や社会の活動に参加できるよう支援します。</p>											
家族支援		事業所での支援をご家族と共有することで、よりよい支援に繋げていけるよう心掛けています。SNSを利用して児の様子を共有しています。ご家族参加型の行事や研修を行っております。						移行支援		主に高校卒業後の進路について、学校・相談事業所との連携を行い、児のライフステージの変化に合わせた支援を行っていきます。			
地域支援・地域連携		地域の行事に参加、同地域の施設間交流等、管轄地区である消防との連携						職員の質の向上		職員研修（月1回実施）、外部研修・勉強会（推奨） 行事企画立案・実施			
主な行事等		令和6年行事予定 1月：初詣・書初め 2月：節分 3月：ひなまつり・花見 4月：チューリップ見学 5月：鯉のぼり見学 6月：紫陽花見学 7月：えいる祭り 8月：プール遊び 9月：運動会 10月：ハロウィン 11月：紅葉狩り 12月：クリスマス会											